



My Fair Golf

JCC 理事が語る「忘れられないあのホール」

JCC 理事
タイ国東京海上火災保険(株)
三木 晋吉

日本郵船の宮治さんからバトンを頂きました。昨年4月にLAからタイに赴任し早いもので一年以上経ちましたがホールインワン等の華やかな経験ありませんので、これまでのゴルフ歴を中心にご紹介させていただきます。

「ゴルフ歴」

学生時代から社会人までバスケットボール選手として日本全国を遠征する週末を過ごしておりましたので、ゴルフを始めたのは日本リーグを引退してフィリピン駐在となった1996年からです。とは言いましてもフィリピンはプロバスケットボールが盛んで週末は現地法人のパートナーが所有しているプロチームの外国人助っ人として試合に出場することも多くゴルフに集中しているという感じではありませんでした。バスケからゴルフに本格的？に切り替わったのは2003年に米国シンシナティ転勤後となります。5年後の2008年にLAに転勤となり西はハワイから東はシンシナティまでを統括することになりました。周囲からは羨ましがられるポストでありましたが現実には担当地域の広さゆえ月に3・4回は時差6時間の広大なエリアを深夜便で飛び回っておりました。それ故移動で週末が埋まってしまうことも多く、LA駐在というイメージほどゴルフの回数は増えませんでした。アメリカでのゴルフはゴルフバッグを自ら担いで歩いてのラウンドがメインでしたので健康促進という意味では非常に良かったと思います。タイに転勤と聞いた時にはキャディさんが残りの距離から狙い所、パットのラインまで読んでくれるということで一気にスコアも改善と勝手に想像していましたが、結果は回数と上達度合いが全く比例せず現在に至っています。ドライバーも折角だからとタニヤプラザでお酒の勢いも手伝い購入しましたが結局はアメリカから持ち込んだドライバーに戻っている始末です。

「宮里藍さん」

LA駐在時に宮里藍さんとDinnerをご一緒する機会がありました。せっかくの機会なので「どうしたらゴルフがうまくなりますかね」と単刀直入にお聞きしたところ、藍さんから「三木さんは東京海上の駐在員として当地でお仕事をされているんですね。私はゴルフが仕事なのでもちろん毎日真剣に練習して勝つための努力をしています。でも三木さんは折角のお休みのゴルフですから、木々の緑や空の青さを楽しんで、鳥の声に耳を傾けて自然を感じながらゆったりとゴルフをされてください。そうすれば上手くなりますよ。お仕事もゴルフも頑張ってください。」というとても素敵な回答を頂きました。しかしなが

ら分かりの悪い私の腹には中々落ちず「もう少し技術的なアドバイスを・・・。」と再度厚かましくもお聞きしたところ「日本人のおじさまで私のゆっくりなスイングを真似される方がいますが、あれは自分特有の間なので真似しないほうがいいと思います。」とのご指導を頂きました。受け答えの上品さ、英語力と本当に素敵なお嬢様で、それ以来藍さんの大ファンになりました。その後は自然を楽しみながらのラウンドを心がけておりますが、残念ながらさほど上手くはなっておりません。タイに赴任後も藍さんの教えを守り、かつタイでは自然だけではなくキャディさんとの会話という更なる癒し効果が加わったにも関わらず、相変わらず残念な結果が続いています。



「忘れられないホール」 ナワタニ・ゴルフ・コース 15 番

タイに来てから回数は激増しているものの、特筆するようなスコアやショットは思い浮かばず正直困りました。それでもナワタニでのラウンドが多いので、そのどこかでと今までのスコアカードを引っ張りだしたところ、ナワタニ 15 番の平均スコアが一番良いことに気づきました。15 番といえばティーグラウンド近辺の木に可愛いフクロウがいるホールです。まさに藍さんの教えてくれた「自然を楽しむ」をティーグラウンドで実践できる 15 番で良いスコアを出して、その勢いで 16 番から 18 番まで気分よく回れるというケースも有り、そういった意味では自分にとって大事なホールであることを、今回寄稿の機会を与えていただいたおかげで発見した次第です。



これからも皆様と色々な場面でゴルフをご一緒させて頂き、スコアはともかく自然をゆったりと感じながらゴルフを楽しみたいと思います。よろしくお願いいたします。

次回はいつもゴルフをご一緒している AGC フラットガラス・タイランドパブリック株式会社の塩井理事にバトンタッチいたします。

